# 令和5年4月15日(土) 開催 『第3回 芦刈まちづくり勉強会報告書』 / 参加者:20名 (うち中学生6名)

 $(10:00\sim12:00)$ 

#### テーマ① 【芦刈のまちをどうしたい?どうする芦刈!】

## A ・昔より住民が減った

- アパートなどが増えた
- ・若い方が住みやすい町ではない
- ・活気がない
- ・空き家が増えた
- 芦刈町が暗い
- ・コミュニケーションが無い



- ・定住者に繋がっていない
- ・道路の利便性アピールが少ない
- ・土地活用
- 決 ・今ある施設にプラスワン
- ・子育て環境が悪い

## ・人や建物が少なく、空き家が多い

- 町全体が寂しくなってきた
- ・世代に関係ない交流の場がない
- 知り合いが多いので安心
- ・交通の便利が良くなった



- ・自然が豊・干潟・癒しの景観を
- アピール(ドローン)
- ・今ある施設にプラスワン
- (ドックラン・スケボ・3 on 3 など)
- ・芦刈にしかないものPR
- ・笑顔の増える芦刈へ

## ・移動手段が少ない

- ・芦刈の良さ(干潟)
- ・子どもが遊ぶ場所がない
- ・集合場所がない



- ・あいのりなどできるバス導入
- ・移動手段の補助
- ・今の魅力にプラスワン

## D・車が無いと暮らせない

- 一定地区のみ人口増加
- バス(通学)がない
- ・虫が多い
- 買い物が不便
- 災害が少ない
- 住んでみての幸福感?



- ・ドローンでの町おこし
- ・若い世代の癒しとなる場所作り
- ・街灯をつくる
- ・芦刈への気持ちを前向きな気持ちで考える

## E・こどもが遊べる場所がない

- ・ショッピングができない
- ・仕事が無いと成人した人が戻って

## 来ない

・交通の便利が悪い(費用が掛かる)



- ・町の方の運転で移動車があれば良い (費用が掛からない)
- ・人を増やす

#### ・買い物難民

- 災害が少ない
- ・子どもが遊ぶ場所・人が集合できる場所がない



- (芦刈にしかできない) 子育て支援
- ・移動手段の補助 ・ドローンでの活動

## テーマ② 【なぜ進まない?進めるためにはどうしたらいいか】

#### 話合いだけではなく、実行する力が不足している

- ・小城市のなかで取り残されている
- ・世代が違うと声がかけづらい(下手すると不審者扱い)

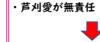


## 自分達の力を合わせる

- ・まちづくりに特化した専門の組織づくり
- 行政と協力
- 補助金を上手に利用

#### B・良い所に気付いていない

- 諦め感があり、発信も無い
- ・伝える・考える場がない



- 他人が知らない芦刈をPR(ドローン)
- 住民の語り合う場を新しく
- やらされてる感が無いイベントを!

## ( ・リーダーがいない (まとめ役不在)

- ・単身ではないボランティア活動
- ・遊ぶ所がないので、外へ行く



- ・輝く行動力のある人がまとめ役に
- 自分達がしたい事を形に出来る組織づくり
- ·ボラン<u>ティア精神</u>

## D・ボランティアの仕組はあるが認知されていない

- 世代の考え方のギャップがある
- 世代が違うと声がかけづらい
- ・芦刈にすむメリットが欲しい



- 組織づくり(リーダー的存在)
- 世代を超えたやり方
- 集まる場所作り
- ・芦刈にすむメリットをつくる
- …給食費無料・安心できる託児所・乗合タクシー (学生には抵抗がある)

## ・行政で行われている制度が認知されていない

- E・道路は恵まれている
- 集合場所が無い 興味・関心があまりない



- ・世代が邪魔をしない話合いが必要
- ・情報収集をする
- ・相談先が曖昧(区長・学校・市役所)

問題意識をみんなで持つ **F** ・ひとつひとつ動いていく



- 移動販売、ウーバーイーツを利用
- ・キャンプ場などPR
- ・行政バス
- ・自分達のことは、自分達で!
- ・キーマンが必要

## ハード事業・・・緑色 ソフト事業・・・赤色

※おおきく3つに分類しました

テーマ③ 【勉強会で感じたこと、今後必要だと思うこと】

#### 【組織づくり】

- プラットフォーム
- まちづくり協議会
- 住みたいまちづくりの会
- 芦刈愛を形に
- ・組織<u>づくり</u>
- ・個人の思いを話しやすい環境づくり

#### 【人・リーダー】

- ・『人は人に集まる』
- ・リーダー的存在

#### ・キーマン

- 【発信】 一人一人の行動
- 勇気をもって行動
- 発信
- ・アピール
- ・新しいことを始める



